



REAL LOGISTICS

Being Group

2021年12月期第1四半期 決算説明資料

株式会社ビーイングホールディングス
(東証 市場第二部 9145)

2021年5月14日

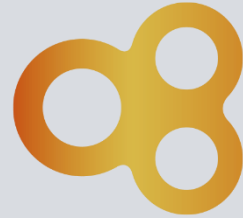
本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合において、当社は、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新・改訂を行う義務を負うものではありません。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

- I ... 会社概要
- II ... Topic
- III... 2021年12月期第1四半期連結業績実績
- IV... 2021年12月期連結業績予想



REAL LOGISTICS
Being Group

I

会社概要

- ・ 4つの特長
- ・ 3つの成長戦略

社名	株式会社ビーイングホールディングス 【英文名】 BEING HOLDINGS CO.,LTD.
本社	金沢本社 石川県金沢市専光寺町レ3-18 TEL : 076-268-1110 / FAX : 076-268-6631 東京本社 東京都千代田区大手町1-1-1大手町パークビルディング7階 TEL : 03-6259-1830 / FAX : 03-6259-1831
代表者	代表取締役社長 喜多 甚一 (キタ シゲカズ)
設立	1986年9月17日
資本金	639,421千円
従業員数	連結888名 (1035名) (2021年3月末現在) 従業員数は就業人員 (当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む。) であり、臨時雇用者数 (パートタイマー、人材会社からの派遣社員、季節工を含む。) は、最近1年間の平均人員を () 外数で記載
事業内容	グループ会社の経営管理 ビーインググループ 物流事業 物流センター運営、コンサルティング業務 その他 旅客事業等

グループ企業

名称	事業内容	資本金	議決権の所有割合
① (株)アクティー	物流事業	80百万円	100.0%
② (株)福井アクティー		30百万円	100.0%
③ (株)東京アクティー		80百万円	100.0%
④ (株)コラビス		80百万円	100.0%
⑤ (株)A 2 ロジ		5百万円	51.0%
⑥ (株)横浜 L S P ※1		10百万円	100.0%
⑦ (株)オリエンタル	旅客事業	10百万円	100.0%
⑧ (株)G a p p a	システム開発	5百万円	100.0%
⑨ (株)ベプ°ロ	保険代理業	3百万円	100.0%
⑩ (株)田川自動車	自動車整備業	6百万円	100.0%
⑪ 北陸物流効率化事業協同組合	燃料販売業	0百万円	35.71% (28.57%) ※2※3

※1 2020年10月1日付で石井運輸(株)より商号変更

※2 議決権の所有割合の () 内は、間接所有割合で内数

※3 議決権の所有割合は100分の50以下であるが、実質的に支配しているため子会社としたもの

1

6機能すべてを自社で担うリアル・ロジスティクス・カンパニー

輸送、保管、包装、荷役、流通加工、更に**情報システムを自社開発**一元化する「3PL事業」を主軸に、同業他社に3PL事業をプロデュースしてサプライチェーン全体を管理する「4PL事業」を、グループで連携を図り展開

2

小売・卸売事業者向け3PL事業に注力

取り扱う商品は**生活物資に特化**。3温度帯（冷凍・冷蔵・常温）の食品、医薬品、化粧品、日用品の**小口物流に強み**を持ち、卸売企業及びコンビニエンスストア、スーパーマーケット、ドラッグストアの物流センター運営を受託

3

「運ばない物流」「見える物流」でロジスティクスの合理化・全体最適化を実現

メーカー、卸売、小売間で実施する拠点間配送、在庫管理、検品などを拠点物流センターに集約し、自社開発の管理システムを駆使した情報を顧客と共有し、構内・配送業務の徹底した合理化により全体最適化を実現

特長1 経営資源の集中投資

生活物資
に特化

特長2 運ばない
物流

ロジスティクスの
合理化・全体最適化

特長3 見える
物流

無いものは自分たちでつくる

現場力

TASKを無くす
仕組み作り

同一情報を同時に
顧客とも共有

人を補助する
仕組み作り

特長4

1
成長
戦略

関東から
全国への展開
を見据えた
物流基盤の構築

既存顧客内での
当社
シェアアップ
に注力

2
成長
戦略

3
成長
戦略

量の拡大と質の変革
長期成長イメージ

ロジスティクスの創造的革新に向け

「量」の拡大と「質」の変革で挑む

「小売りビジネスの物流プラットフォーム」
目指す

「データネットワークセンター」
構築

- モノに関する様々なデータを収集・管理・分析し、サプライチェーンに携わる事業者同士を繋げ、クラウド上で管理

- 3PL事業をプロデュースしてサプライチェーン全体を管理する「4PL」事業及び、「DXプラットフォーム」を同業他社へ提供

「質」
の
変
革

サプライチェーンの
全体デザイン力拡充する
技術・システム

開発

- 拠点間物流を合理化

3PLビジネスの
スピーディーな拡大

エリア
拡大

M&A

顧客
拡大

ハンASET
化

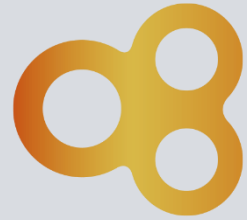
「量」
の
拡
大

研究開発

AIやIoTを使った省力化設備や高生産性・高品質の業務フロー
DtoC、オムニチャネルに対応する物流ビジネス

現在

将来



REAL LOGISTICS
Being Group

II

Topic

■ 2021年2月22日、千葉県（芝山町）に新センター「成田TC」稼働

- 関東エリアの業務拡大への対応を目的として、千葉・茨城エリアにおける食品・雑貨の輸送センターの運営を行う



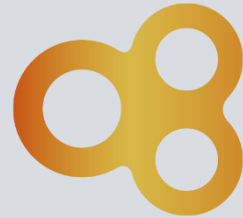
■ 2021年3月17日、福井県（永平寺町）で新物流拠点 自社センター着工

- 今後も福井エリアで顧客の新規出店が見込め、新たな業務拡大に向けて、既存の福井センター、福井国分センター、福井DCセンターの機能を本センターに統合して業務効率を向上させる
- 福井—長野県で部分開通している中部縦貫自動車道の全線開通で、交通アクセスが向上する長野、岐阜両県の販路拡大も目指す



完成予想パース

仮称	福井SCMセンター
竣工予定	2021年9月末竣工
倉庫内温度	3温度帯 常温・チルド・冷凍
構造	鉄骨3階建、高床バース
延べ床面積	7798.57㎡
総工費	15.9億円



REAL LOGISTICS
Being Group

III

2021年12月期第1四半期

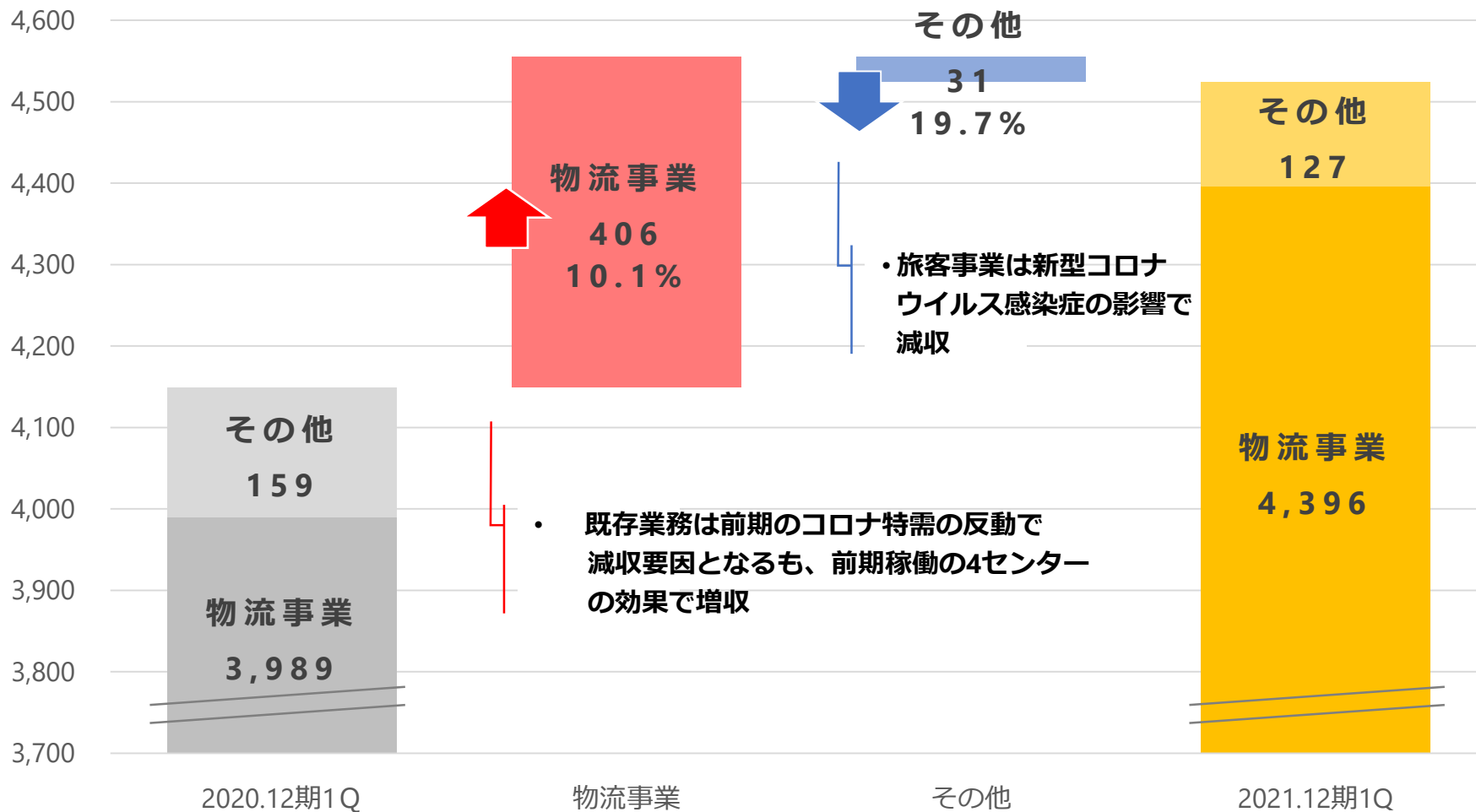
連結業績実績

2021年12月期第1四半期 損益状況（前同比）

[百万円]	2020年12月期 第1四半期 実績		2021年12月期 第1四半期 実績		前年同期比	
	金額	営業収益比	金額	営業収益比	増減額	増減率
営業収益	4,148		4,523		+374	+9.0%
営業原価	3,836	92.4%	4,065	89.9%	+229	+5.9%
営業総利益	312	7.5%	457	10.1%	+145	+46.5%
販管費	259	6.2%	259	5.7%	△0	△0.0%
営業利益	52	1.2%	198	4.3%	+145	+275.6%
営業外収益	29	0.7%	36	0.8%	+6	+22.5%
営業外費用	16	0.3%	9	0.2%	△6	△39.5%
経常利益	66	1.5%	224	4.9%	+158	+240.1%
特別利益	9	0.2%	0	0.0%	△8	△90.4%
特別損失	5	0.1%	0	0.0%	△5	△100.0%
法人税等	45	1.1%	78	1.7%	+32	+71.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	18	0.4%	139	3.0%	+121	+672.7%

2021年12月期第1四半期 損益状況 | 営業収益増減要因分析

[百万円]	2020年12月期 第1四半期 実績	2021年12月期 第1四半期 実績	前年同期比	
			増減額	増減率
営業収益	4,148	4,523	+374	+9.0%



2021年12月期第1四半期 損益状況 | 営業利益増減要因分析

[百万円]	2020年12月期 第1四半期 実績		2021年12月期 第1四半期 実績		前年同期比	
	金額	営業収益比	金額	営業収益比	増減額	増減率
営業利益	52	1.3%	198	4.4%	+145	+275.7%

● **物流事業の営業収益増加**

- 前期稼働の4センターの効果で取扱量増加

● **物流事業の営業原価率改善低減**

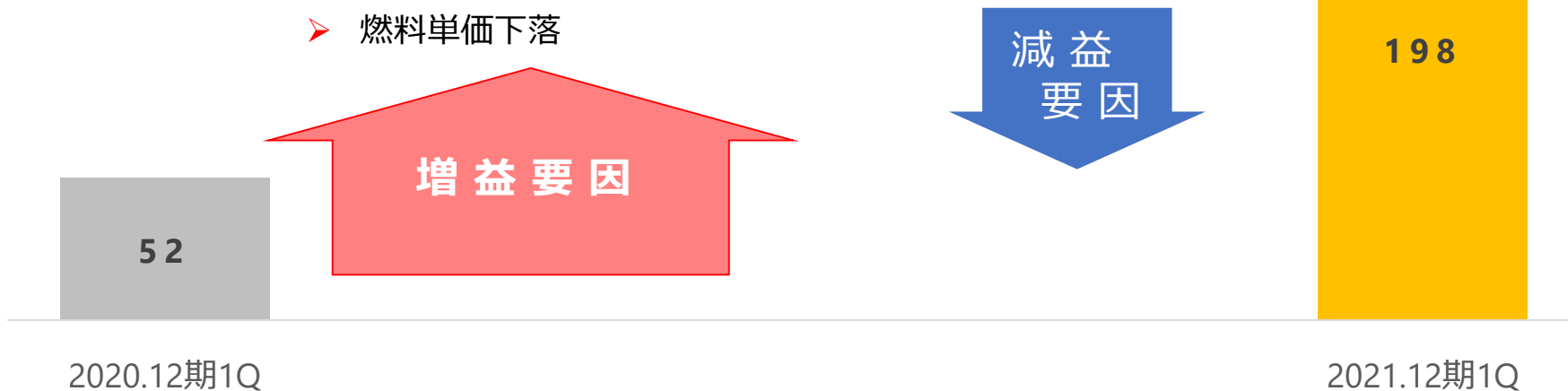
- 自社従業員比率を向上させ派遣従業員削減
- 燃料単価下落

● **その他事業の営業収益減少**

- 旅客事業、停滞
- 燃料販売業、燃料単価下落

● **その他事業の営業原価率悪化**

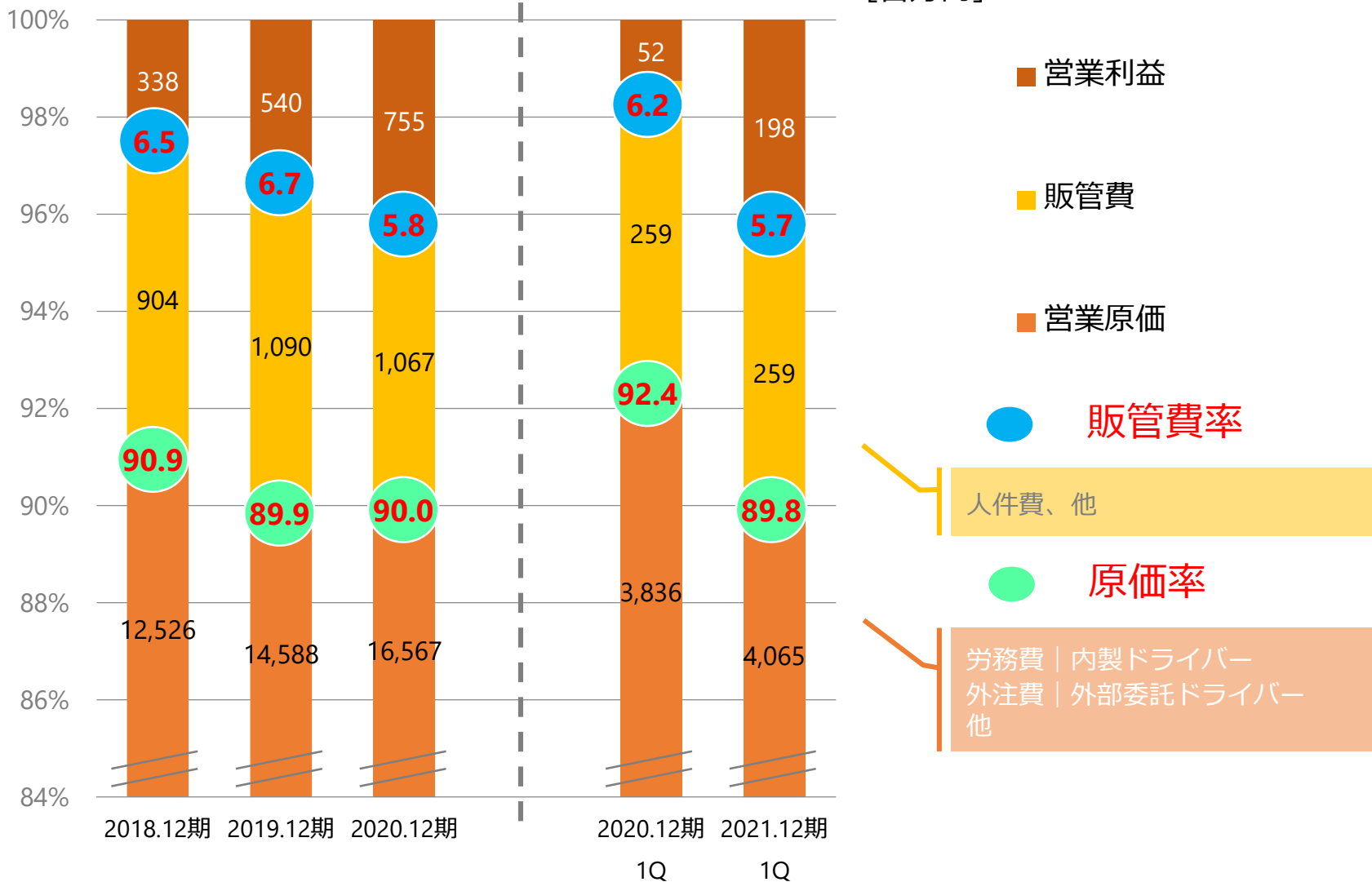
- 旅客事業、原価圧縮も営業収益減少の影響大



2021年12月期第1四半期 損益状況 | 収益構造

収益構造の推移

[百万円]



2021年12月期第1四半期 財務状況（前期末比）

[百万円]	2020年12月期末		2021年12月期 第1四半期末		前期末比		主な増減要因
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
流動資産	6,978	51.3%	5,489	44.5%	△1,488	△21.3%	・ 現金及び預金 △1,132
固定資産	6,623	48.6%	6,827	55.4%	+204	+3.0%	・ 建物及び構築物 △42 ・ リース資産 △39
資産合計	13,601	100.0%	12,316	100.0%	△1,284	△9.4%	
流動負債	5,005	36.8%	4,204	34.1%	△801	△16.0%	・ 営業未払金 △391
固定負債	5,083	37.3%	4,588	37.2%	△494	△9.7%	・ 長期借入金 △436
負債合計	10,089	74.1%	8,793	71.3%	△1,295	△12.8%	
純資産合計	3,512	25.8%	3,523	28.6%	+11	+0.3%	・ 利益剰余金 +25
負債・純資産合計	13,601	100.0%	12,316	100.0%	△1,284	△9.4%	
自己資本比率	24.8%		27.6%		+2.7pt.		



REAL LOGISTICS
Being Group

IV

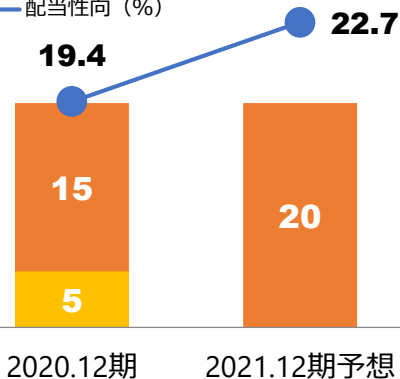
2021年12月期連結業績予想

2021年12月期連結業績・配当予想

■ 期初予想から変更なし

[百万円]	2020年12月期 実績		2021年12月期 予想		前期比		2021年12月期 第1四半期 対通期予想進捗率		(参考) 2020年12月期 第1四半期 対通期実績進捗率	
	金額	営業収益比	金額	営業収益比	増減額	増減率		実績額		実績額
営業収益	18,390		19,500		+1,109	+6.0%	23.1%	4,523	22.5%	4,148
営業利益	755	4.1%	800	4.1%	+45	+5.9%	24.7%	198	6.8%	52
経常利益	795	4.3%	820	4.2%	+25	+3.0%	27.4%	224	8.3%	66
親会社株主に帰属する 当期純利益	470	2.6%	500	2.6%	+30	+6.2%	27.8%	139	3.8%	18
1株当たり 当期純利益 [円]	103. ⁰⁴		88.¹⁰							

■ 普通配当 (円) ■ 記念配当 (円)
● 配当性向 (%)



配当基本方針

・ 株主還元を経営上の重要な課題と認識

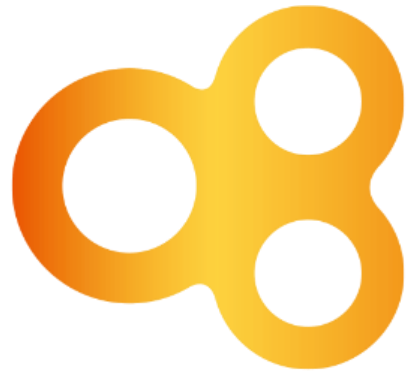
・ 業績や事業拡大に向けた資金需要に対応した内部留保の確保を総合的に勘案

連結配当性向30%を目安・長期的に安定した配当を継続

内部留保資金

借入金返済等の財務体質の強化・戦略的な成長投資

企業価値向上に努める



REAL LOGISTICS

Being Group